

経済経営学類のディプロマ・ポリシー

経済経営学類の教育目標

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身につけ、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成する。

学類ディプロマ・ポリシー

本学類は、現代社会で起こっている様々な問題に関心を持ち、それらを経済学と経営学の視点でとらえる能力をもつことによって、社会において実践できる人材を養成する。そのため以下の5つの能力をディプロマ・ポリシーとして提示する。

1. 経済学と経営学の専門知識

各コースが掲げる専門的力量を身につけている。
それを応用して課題を発見、分析し解決に取り組むことができる。

2. エビデンスにもとづいて論理的に思考する力

量的、質的なデータを適切に収集し、エビデンスにもとづいて分析することができる。
論理的に思考し、多面的かつ柔軟な考察を展開できる。

3. フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力

様々なフィールドを通じて、社会の課題に主体的、実践的に取り組むことができる。

4. グローバルに思考し実践に進む力

調査研究やコミュニケーションのために実用的な語学力を身につけている。
海外や地域の課題解決に向けて、対象を適切に調査し、実践的に関わることができる。

5. キャリアを見据え自立し協働する力

人間的な働き方と暮らし方を志向しながら、社会的、倫理的な観点から自らを律するとともに目標設計を主体的に行うことができる。
相手の立場と意見をふまえながら、自分の意見を述べ、討論し、文章で表現できるようなコミュニケーション能力を通じて、他者と共存し協働できる。